

# 病理診断とは？

What is Pathological Diagnosis?

がんはそれぞれの患者さんごとに異なる性質を持っています。また、がんの進行度や悪性度は手術後の治療を決める上で重要な情報です。手術によって切除された検体や生検検体は、病理学的検索によってがんのタイプ、進行度、完全に切除されたことなどが判定されます。これが病理診断です。

## 病理診断はとても重要です。

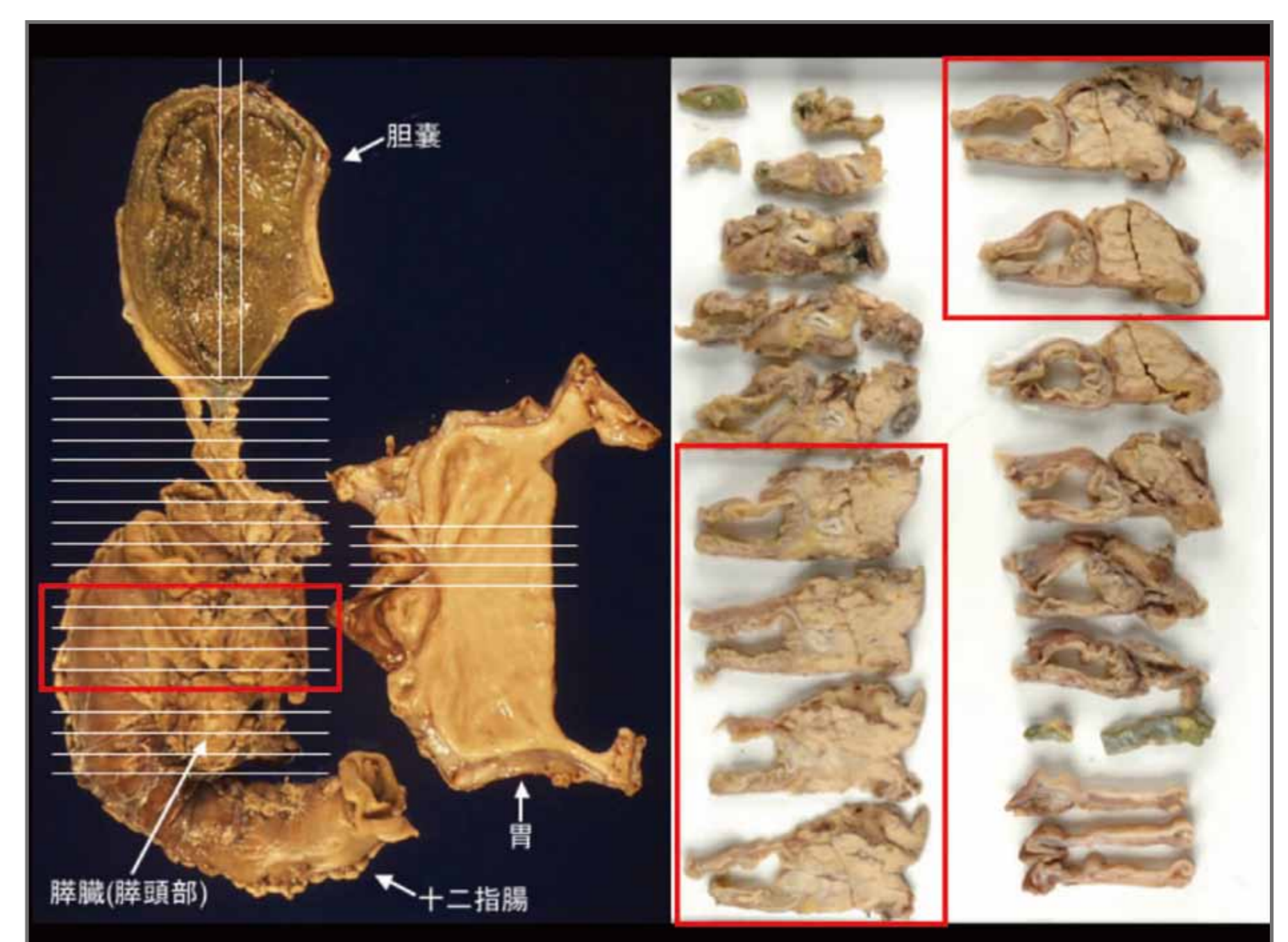
がんは、発生する臓器によって性質が異なり、また同じ臓器に発生したがんであっても、様々な異なる性質を持つことが知られています。そこで、外科手術で切除された臓器・組織や内視鏡検査などで生検された組織が、病理学的に検索され診断されることには次のような重要な意義があります。

- 本当にかんであるのかどうか。
- とても悪いがんなのか、比較的小となしいがんであるのか。
- どの薬剤(分子標的治療薬等)がよく効くがんであるのか。
- どの程度進展しているがんであるのか。

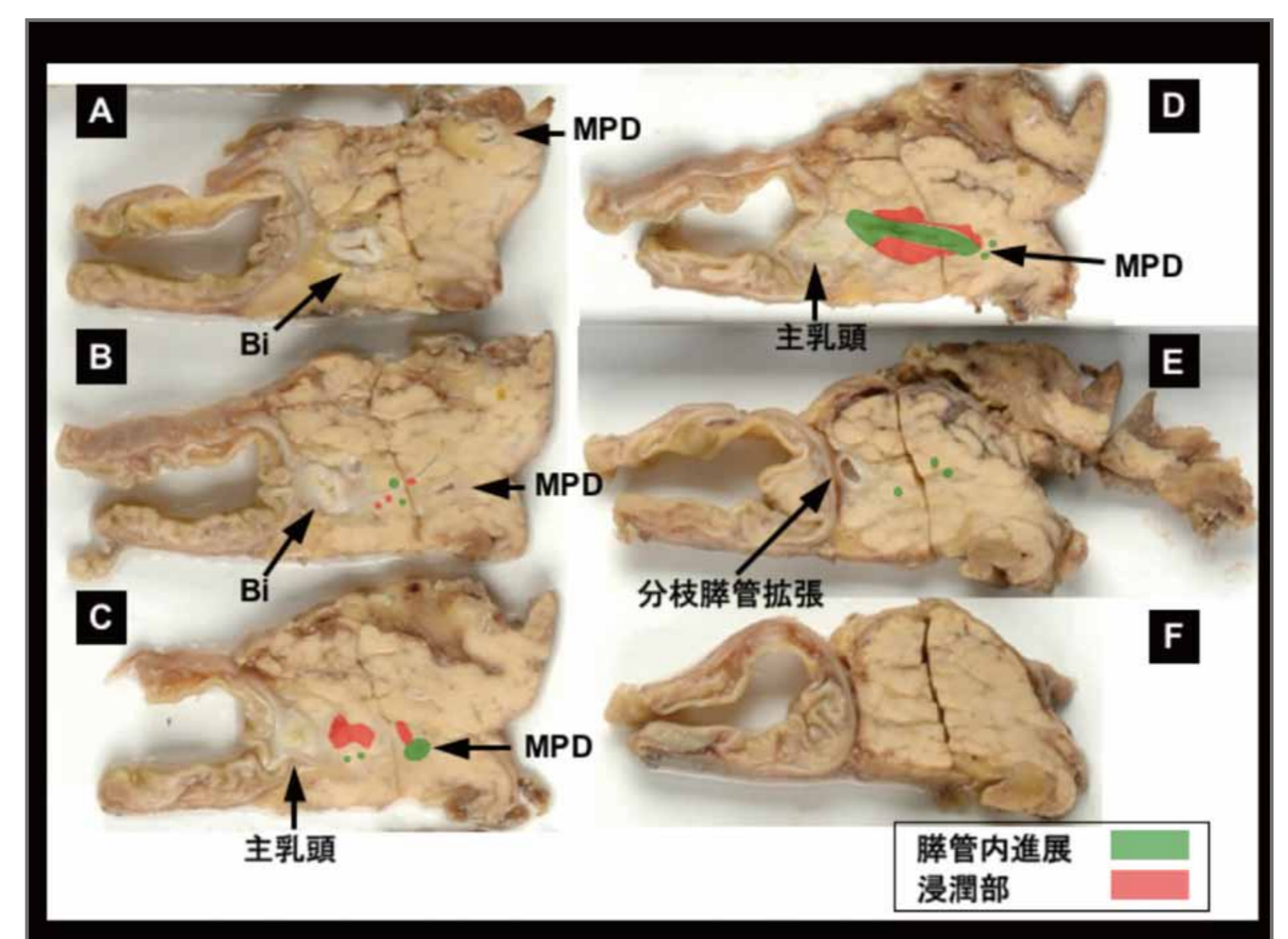
などが病理学的検索によって判定(病理診断)されることです。

実際の病理診断では、肉眼や顕微鏡を使ってがんを含めた臓器・組織を詳細に観察し、必要に応じて分子病理学的な検索も行っています。

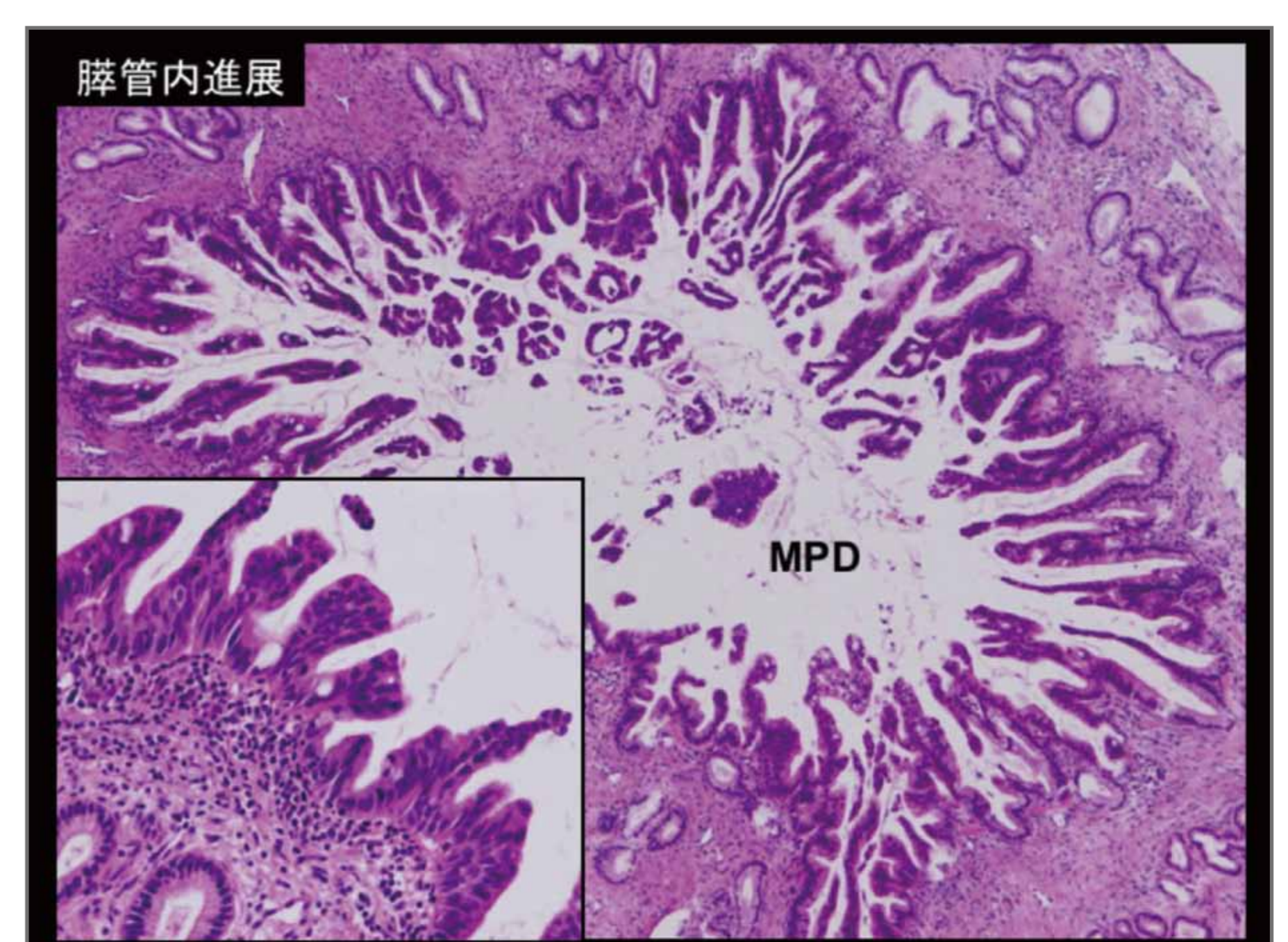
このように、病理診断は、がんの進行状況やがんの特性を知る上で重要な情報を提供しています。またその情報は、どのような治療をすべきであるのかを決定するのに役立っています。



膵頭十二指腸切除術で切除された膵頭部・胃・十二指腸・胆嚢の肉眼像(左)とその切り出し図(右)



膵がんの広がりを示すマップ



膵がんが主膵管(MPD)を進展する組織像